

肥育成績向上が期待できる

黒毛和種高能力肥育素牛生産技術

黒毛和種繁殖牛飼養頭数や酪農経営における和牛E T増加により、福岡県内の黒毛和種子牛の生産頭数が増加しています。しかし、県産の和牛子牛を県内肥育農家で有効に活用するためには、肥育成績が優れる肥育素牛の生産技術を確立し普及することが重要な課題になっています。そこで、福岡県農林業総合試験場では、高蛋白低脂肪代用乳を多量給与する「強化哺育」に加え、実施後に粗飼料を多給して育成を行い、肥育時の増体や出荷時の枝肉成績が良好な高能力肥育素牛の生産技術を確立しましたので紹介します。

☆ 技術の概要

1. 代用乳多給により強化哺育子牛の TDN（可消化養分総量）、CP（粗蛋白）摂取量が増加し、哺育終了時において、通常哺育に比べて大きな体重・体格の子牛が生産できます。
2. 強化哺育後に粗飼料を多給（最大 60%）して育成すると、TDN、CP 摂取量が少なくなり通常育成に比べて増体量がやや低下しますが、育成終了時点には体重・体格が通常の育成牛と同等の肥育素牛が生産できます。
3. 強化哺育と粗飼料多給で育成した肥育素牛（高能力素牛）は、通常哺育・育成した肥育素牛（通常素牛）に比べて肥育期における飼料摂取量や増体量が増加し、29 ヶ月齢出荷時の体重が通常素牛より重くなります。
4. 高能力素牛の枝肉成績は、通常素牛に比べてロース芯面積が大きく、枝肉重量、肉質等級、脂肪交雑（BMS）が良好です。

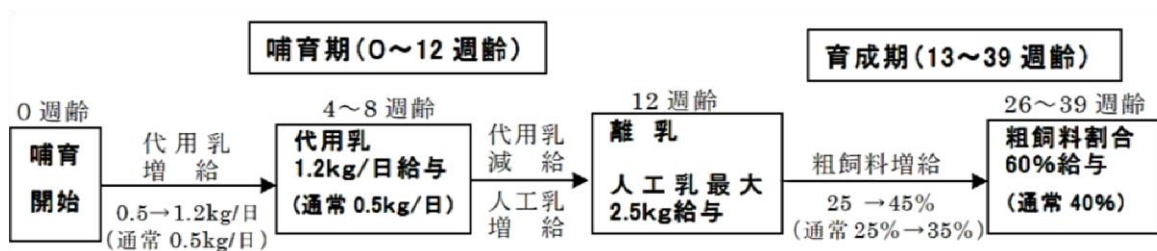


図1 高能力素牛の哺育・育成方法

注) 代用乳（高能力）はTDN108%、CP28%、EE（粗脂肪）18%の高蛋白・低脂肪代用乳を給与

☆活用面での留意点

1. 福岡県産の和牛子牛哺育・育成農家における素牛生産技術の参考資料として活用できます。
2. 詳しくは、福岡県農林業総合試験場畜産部大家畜チーム（Tel.092-925-5232）にお問い合わせ下さい。

（日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 加茂幹男）